

## 履歴書（様式3）作成上の注意

記入例の①～⑦の箇所については、特に以下の点に注意し、別添のQ&Aも参考にすること。

### ① 氏名欄

- ◎令和6年度採用試験志願書記入以降に氏名変更（改姓等）した場合  
⇒ 上段に変更後の氏名、下段に変更前（旧姓等）の氏名を記入すること。

### ② 現住所欄

- ◎上段に現住所を記入し、郵便番号も記入すること。
- ◎令和6年4月までに住所を変更する予定がある場合は、上段に現住所を記入するとともに、転居先の住所を（転居先が未定の場合は「転居予定」と）記入すること。

### ③ 学歴欄

- ◎学校名を正確に記入し、学部・学科・専攻科目は学則により正確に記入すること。
  - ・通信教育・聴講生の場合は、その旨を明記すること。
  - ・通信教育の場合は、免許取得課程・学士取得課程の別を必ず明記すること。
  - ・大学院については、修士課程・博士課程・専門職学位課程の別を必ず明記すること。  
（博士前期課程・博士後期課程の名称を用いている場合は、その名称に従って記入すること）
- ◎「正規の修学年数」は、通常その学校を卒業（修了）するために必要とする年数を記入すること。
- ◎中途退学の場合は、「単位取得証明書」を提出すること。

### ④ 資格・免許欄（教員内定者のみ）

- ◎所有の教員免許状等（保育士、看護師等を含む）は全て記入すること。
- ◎所有免許状（証）及び取得見込免許状（証）の種類・教科（中・高のみ）・取得（見込）年月日（和暦）を記入すること。
- ◎取得見込免許状は、「〇年〇月〇日取得」のあとに「**見込**」と記入すること。
- ◎教員免許状の種類は、「小1」（小学校教諭1種免許状の場合）、「中2」、「高専」、「特支2」、「養教1」等と略して記入すること。

教育職員免許法の改正により、平成19年4月から養護学校教諭免許状は、特別支援学校教諭免許状とみなされることとなりましたので、養護学校教諭免許状をお持ちの方は、「特支」と記入してください。

### ⑤ 整理番号欄

- ◎合格区分に受験番号を加えて記入すること。（事務職員の場合、受験番号のみ記入すること）  
＜記入例＞小223、中・社会1123、高・理科3301、総支4039、養護4301、栄養4509 など

### ⑥ 職歴

- ◎教育に関係のない職歴もすべて記入すること。
- ◎高等学校卒業後の職歴について、年次順に全て（アルバイト等を含む。）、年月日が途切れることなく令和6年3月31日まで記入すること。

### <大学等在学中の職歴（アルバイト等）について>

⇒次の期間の職歴（アルバイト等）は、記入不要（勤務証明書の提出も不要）。

- 昼間の大学の正規の修学期間（4年制の場合は、4年間）
- 昼間の短期大学の正規の修学期間（2年制の場合は、2年間）
- 昼間の大学院の正規の修学期間（2年制の場合は、2年間）

※通信制大学、正規の修学期間を超えた期間、在学中の休学期間、夜間の大学（Ⅱ部）の在学期間、専門学校<sub>の</sub>在籍期間などに職歴がある場合は、記入のうえ、併せて、勤務証明書を提出すること。

◎履歴書提出後の職歴についても、既に任用、契約期間が決まっている場合は記入すること。

◎職歴のない人は「職歴なし」と記入すること。

◎職歴のある人で、職に就いていない期間については漏れなく「**在家**」と記入すること（1ヶ月未満は記入不要）。

### ⑦ その他

◎履歴書（職歴記載用）が複数枚に渡る場合、年次が最も古いものを1枚目とすること。